

3月5日(日)は旭市津波避難訓練

災害時の行動力を身に付けよう



東日本大震災から間もなく12年が経過します。

震災の教訓を生かして、大津波の襲来を想定した訓練を実施します。

災害が発生したときは、自分の身の安全を確保すること(自助)、

近所の人たちで助け合うこと(共助)が大切です。

家族や近所の人たちとそろって訓練に参加しましょう。

避難場所に避難した人には、先着で防災グッズを配布します。

日時

3月5日(日) 午前9時～10時

※荒天中止(中止の場合は、午前7時30分に防災行政無線でお知らせします)。

避難場所

●飯岡地区

飯岡小、上永井公園、下永井団地、飯岡避難タワー、飯岡中、いいおか保育所、双葉団地A、いいおか潮騒ホテル

●三川地区

三川小、三川避難タワー

●矢指地区

矢指小、日の出山公園、旭中央病院附属看護専門学校、矢指避難タワー

●富浦地区

富浦小、一中、亀の井ホテル、九十九里(旧かんぼの宿旭)、富浦避難タワー

●そのほか

豊畑小、中央小、二中、海上

対象区

別表のとおりですが、地区外の人でも参加できます。

訓練内容

●避難場所の確認…今回の訓練

【別表】旭市津波避難訓練対象区一覧

小学校区	区 名
飯岡地区	永井岡・東町・西上町・西下町・横根東浜・本町・川端町・小網町・広網町・大崎町・八軒町・並木町・飯岡岡・行内・平松岡・平松浜・横根岡・横根西浜・萩園(復興住宅含む)・双葉町
三川地区	曾根・目那・犬林・上宿・後・下宿・浜・県営飯岡団地
矢指地区	十日市場浜・椎名内岡・椎名内東町・椎名内仲町・椎名内西町・東足洗・西足洗岡・西足洗浜・野中・足川岡・足川浜
富浦地区	仁玉岡・仁玉浜・中谷里岡・中谷里浜・川向・神宮寺岡・神宮寺浜・井戸野浜・駒込浜
豊畑地区	井戸野上通り・井戸野中通り・井戸野下通り・泉川・駒込岡・大塚原
中央地区	十日市場岡

※10mの津波が襲来した場合に、予想される市内の浸水範囲に含まれる地区とその周辺を想定しています。



日の出山公園での避難の様子

**防災行政無線
戸別受信機の貸し出し**
防災情報などをお知らせする

●津波避難訓練…防災行政無線の地震による大津波警報を聞いたなら、30分以内に近くの避難場所に避難しましょう。

●シエイクアウト訓練…防災行政無線の緊急地震速報を聞いたなら、直ちに姿勢を低くして頭を守り、揺れが収まるまで2分程度じっとして待ち、地震から身を守る行動をとりましょう。

では、地震発生から津波到達まで30分を想定しています。事前に時間内でたどり着ける避難場所を津波ハザードマップなどで確認しておきましょう。



津波ハザードマップ

手段として、戸別受信機を無償で貸し出しています。希望する人は問い合わせてください。

対象

市内に在住している人で、1世帯につき1台です。

市外へ転出するときは、返却してください。

**自主防災組織をつくり
参加しましょう**

大規模災害発生時には、消防などの公的防災機関による救助が困難になるため、自主防災組織などによる自助・共助がとても重要です。

自主防災組織とは

自分たちのまちは自分たちで守るという意識に基づき、地域住民が自主的に防災活動を行う組織で、主に区や自治会などの規模で結成して運営します。

市からの補助金

自主防災組織を結成すると、主催する研修会や防災訓練、防災用資機材などの購入、防災リーダーなどの人材育成の活動に補助金が交付されます。

問い合わせ先

総務課地域安全班

☎62・5311

地震・津波の情報を知ろう

気象庁では、津波による災害の発生が予想される場合に「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」を発表します。ほかにも、強い地震や津波が発生する可能性が高まっている場合には「北海道・三陸沖後発地震注意情報」「南海トラフ地震臨時情報」を発表します。

情報の種類に応じて、どのような行動をとるべきか確認しておきましょう。

北海道・三陸沖後発地震注意情報

北海道から三陸沖に延びる日本海溝・千島海溝沿いでマグニチュード7以上の地震を観測した際に、巨大な後発地震への注意を呼びかける「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用が、令和4年12月から始まりました。巨大地震が起きた場合、旭市は高さ3メートル以上の津波が襲うと想定されており、注意情報で備えを強化すべき市町村として対象地域に指定されています。

北海道・三陸沖で発生する巨大地震の津波浸水範囲は「ちば情報マップ」で確認できます。



ちば情報マップ

いつでも避難できる態勢を

注意情報が発表された場合は、想定される甚大な被害に対して1週間程度、備えをしましょう。

- 枕元に靴を置くなど、すぐに逃げ出せる態勢で就寝する
- 非常持出品(食料、水、常備薬、懐中電灯、携帯ラジオなど)を常時携帯する
- インターネットやラジオなど、緊急情報を取得できる

体制を確保する

- 崩れやすいブロック塀に近づかないなど、想定されるリスクから身の安全を確保する
- 備蓄食品の賞味期限や家具転倒防止板の設置など、日ごろからの備えの再確認をする

気象庁から発表される情報ととるべき行動

種 類	発表される津波の高さ	とるべき行動
大津波警報	10m超 10m 5m	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに津波避難場所などの安全な場所へ避難する。到達予想時間まで余裕がある場合は、できるだけ内陸へ避難する。また、警報が解除されるまで安全な場所から離れない。
津波警報	3m	海岸堤防より海側にいる人は、ただちに海岸から離れる。
津波注意報	1m	強い地震や津波が発生する可能性が高まっているので、いつでも避難できるように準備する。
北海道・三陸沖後発地震注意情報	最大予測約6m*	
南海トラフ地震臨時情報		
調査中		今後の情報に注意し、地震の発生に備える。
巨大地震警戒	最大予測約5m*	強い地震や津波が発生する可能性が高まっているので、いつでも避難できるように準備する。
巨大地震注意		
調査終了		地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。

※予測を超えた津波が発生する可能性もあります。

問い合わせ先

総務課地域安全班(☎62-5311)